

「芯の通った学校組織」を活用・推進していくための実践事例 事例 2

短期PDCAサイクルにおいて、期末のアンケートによらない取組の評価・検証が行える実践事例

目指す子どもの姿

学年末の姿

⇒

自分の役割を確実に果たし、達成感を味わうことができる子どもを100%にする。

具体的取組

⇒

◎教師も担当場所で子どもと一緒に清掃する

(担任が声かけをしながら指導する)

- ・チャイムで始め、チャイムで終わる
- ・縦割り班で協力して清掃
- ・必要なこと以外話さない
- ・「始め」と「終わり」に班全員で確認、あいさつ

週に一度 (曜日は固定しない)

<子どもの自己評価アンケート>と<教師の取組の自己評価アンケート>

- ・時間を守った
- ・自分の分担はしっかりやった
- ・話さない
- ・清掃を振り返っての気持ち (5段階)

データを蓄積し、取組状況を把握する。

取組状況を確実に把握できているので、必要に応じて、学期の中途でも評価・検証を行い、改善策を企画・実施することができる。